説明用紙 同意書

説明用紙&同意書	大分類:同意書　中分類:放射線	署名後、スキャンへ
用紙の分類・属性・種類	スキャン保存の必要有無とスキャン分類	用紙の取り扱い及び用途

MRI検査 を 安全 に行うために

MRIの検査に関する動画です。
左のQRコードを読み取ってご覧下さい(Youtubeが開きます)

MRIは“Magnetic Resonance Imaging”の略で磁気共鳴装置と呼ばれています。強力な磁場とラジオ波と呼ばれる電波を使い、体の内部の状態を様々な方向から断面図として画像化する検査です。
放射線を使用しない検査のため、被ばくの心配がありません。

検査前の注意点

※ 金属製品 や 磁気カード などは持ち込みできません

万が一持ち込まれた場合は、機器の破壊や故障、また人体においてもやけどや金属の移動など大変重大な事故を引き起こす恐れがあります。

● 金属小物



鍵、クリップ、筆記用具ライターなど

● 精密機器・電子機器



時計、携帯電話、カメラ
携帯型オーディオなど

● 磁気記録媒体



キャッシュカード(磁気カード)、通帳など

● 装身具



入れ歯、メガネ、補聴器、ピアス
ヘアピン、指輪など

● その他

入れ墨/
アートメイク/
お化粧(稀に金属含有の化粧品あり)/
磁気絆創膏/
カイロなど

以下に当てはまる方は、検査を受けられない場合があります。医師、看護師にお申し出ください。

■ 体内金属がある
- 心臓ペースメーカー
- 脳動脈クリップ
- 磁石を使用した歯科用インプラント
- 人工内耳
- 人工関節
- プレート

・・・ など

■ 妊娠中・授乳中

■ 狭いところが極端に苦手な方(閉所恐怖症)

検査のながれ

検査所要時間 ： 20～60分



★ 検査室に入ってからベッドに横たわり、筒状の機械の中に入ります
★ 撮影が始まると、「ドンドン」「ガーガー」と大きな音が出ますが異常ではありません。
★ 圧迫感のある中での撮影となりますが、体を動かさないでください。
★ 検査時間が長時間に及ぶ場合があります。検査前にお手洗いをお済ませください。

（ ID：　　）さんに対し、上記について説明を行いました。

診療科： 健診科　　医師：

留萌市立病院
0164-49-1011

MRI検査の目的や内容についての説明等を受け、MRI検査を受けることに同意します。

年　月　日

※ 同意する者とは、本人、または意思決定能力が無い本人に代わり、承諾をする者を指します。

同意する者：	続柄:
代筆者：	続柄:

検査について不明な点や、検査後に体調の変化等ございましたら遠慮なくスタッフまでお尋ねください。

電話：0164-49-1011

留萌市立病院　令和6年9月改定

説明用紙 同意書

問診票	大分類:問診表及び予診票　中分類:検査問診票	検査終了後、スキャンへ
用紙の分類・属性・種類	スキャン保存の必要有無とスキャン分類	用紙の取り扱い及び用途

MRI検査確認票（検査時毎回必要）

検査日	年　月　日

生年月日：	体重（必須情報） kg
ID：	
名前：　様	
★ 電子カルテ登録済　体内金属情報	

検査前確認 （当日検査は不要）	
検査当日確認	
検査担当技師	

体内異物・金属などの確認

- **心臓ペースメーカー**　あり・なし
- **人工内耳などの体内電子装置・補聴器**　あり・なし
- **銃弾破片・鉄片などによる外傷の既往**　あり・なし
- **脳動脈クリップ（くも膜下出血の手術）**　あり・なし　（手術日　年　月）
- **人工心臓弁**　あり・なし　（手術日　年　月）
- **現在カプセル内視鏡が体内にある可能性**　あり・なし
- **閉所恐怖症**　あり・なし
- **妊娠中、妊娠の可能性、または授乳中**　あり・なし

★ 以下のものが体内にある、または身に着けている場合は✓を入れてください。

手術・処置	☐ 人工骨頭/人工関節	☐ 手術クリップ	☐ 消化管クリップ	☐
	☐ スクリュー/ボルト/プレート	☐ ステント留置	☐ 胸骨ワイヤー	☐
	☐ 歯科用インプラント（磁石式）	☐ 避妊リング	☐ 血管内コイル	☐

その他	☐ 貼る心臓の薬	☐ 義眼	☐ カラーコンタクトレンズ	☐ 持続自己血糖測定器
	☐ 増毛パウダー	☐ 入れ歯	☐ 保温インナー	☐
	☐ 鍼治療の鍼	☐ お化粧	☐ カイロ、湿布、エレキバン	☐
	☐ 入れ墨（アイライン、眉含む）		☐ 衣類・下着に金属製品	☐

- **この問診票を記入したひと**　☐ 本人　☐ 担当看護師　☐ その他（　　）
- **検査同意書へのサイン**　☐ しました　☐ していません

★ 登録されていない体内異物・金属が発覚した場合

① 登録されていない体内異物・金属が問診で発覚した場合、
それが発覚した時点で、担当者（医師/看護師/放射線技師）が速やかに登録すること。

② 体内異物・金属による検査可否の判断は、検査をオーダーした医師に確認する。

留萌市立病院　令和6年2月改定